

目 次

1	仕様書の役わり	1
1-1	環境アセスメントはどのように実施されているか	1
1-2	環境アセスメントとは何か	5
1-3	仕様書は何を含んでいなければならないか	7
1-4	仕様書から計画書へ	8
2	仕様書の内容（Ⅰ）——評価への指針	12
2-1	評価項目の設定	12
2-2	評価基準の設定	25
2-3	予測手法	28
2-4	調査範囲の設定	31
2-5	代替案	36
3	仕様書の内容（Ⅱ）——評価書の書式への指針	38
3-1	評価書の役わり	38
3-2	わかりやすくするには	39
4	仕様書の内容（Ⅲ）——公表への指針	40
4-1	資料の提供	40
4-2	説明会	42
4-3	公聴会	42
5	仕様書の内容（Ⅳ）——事後調査への指針	45
6	仕様書の内容（Ⅴ）——疑義のとり扱い	47
7	環境アセスメント手つづきでの位置づけ	49
8	仕様書の事例（Ⅰ）——住宅団地	52
9	仕様書の事例（Ⅱ）——都市道路	62
10	仕様書の事例（Ⅲ）——し尿処理施設	90

付 1	調査予測および評価の技術指針	111
付 2	環境情報の収集・管理・公表の技術指針	144
	(A) マスタープラン型	145
	(B) 日常業務型	145
	(C) オンライン型	145
[1]	どのようなデータが必要か	148
[2]	どのように管理するか	159
[3]	どのように提供するか	160
[4]	コンピューター導入を前提とした環境情報システム	161
	(4-1) メッシュ体系と識別コード	161
	(4-2) ファイル体系とデータ量	167
	(A) 項目表ファイル	168
	(B) コード・ファイル	169
	(C) データ・ファイル	169
	(D) ドキュメント・ファイル	176
	(4-3) 検索体系と必要なコンピューター・システムの構成	177
[5]	おわりに	183

